

グローバルイノベーション創出に係る 令和3年度の実施について



令和3年度 事業方針①

背景

ビジネス環境の変化

オンライン主体のビジネス

コロナ禍で都市間移動の制限、直接的対話機会の減少により、オンライン主体のビジネスへ。

スピード感を持ったビジネス展開が必要とされるスタートアップにとっては、海外企業との連携が容易になるなど、むしろチャンス。

ビジネスチャンスの到来

DX、AI、非接触技術など一部の分野において新たなビジネスチャンスが到来。

連携強化

グローバル拠点都市としての広域連携

人材、技術やアイデアなど、イノベーションを生み出す資源と大企業、大学、金融機関等との連携を強化し、2025年大阪・関西万博の開催やスマートシティをビッグチャンスとして、グローバルに活躍できるスタートアップの輩出をめざす。

事業の効率化

スタートアップ支援手法の見直し

スタートアップが必要とする施策や事業を機動的に立案／実行していくため、行政職員が仕様を定める委託事業から、事業者が自主的・弾力的に業務遂行することが可能となる交付金事業へ見直し。

単年度主義に陥らない支援、時流にのった即自的支援が可能になる。

課題

- ◇スタートアップの創出・成長支援
- ◇イノベーション人材の育成
- ◇スタートアップ・エコシステムの構築

うめきた地区の大阪イノベーションハブ（OIH）を中心に、大阪・関西から人材・情報・資金を誘引・集積させ、統合しイノベーションにつながるプロジェクトを創出・支援できる「場」と「仕組み」を構築

①スタートアップ×VC・大企業が出会う場の提供

・うめきたピッチ、モーニングミートアップ、グローバルピッチイベントの開催

②各ステージのスタートアップ企業に向けた支援プログラムの実施

・OSAP、海外アクセラレーションプログラム等

③産学連携の推進

・大学発スタートアップ創出プロジェクト、テックミーティング等の実施



事業KPIについて

大阪スタートアップエコシステム・コンソーシアム目標

KPI項目	内容	目標（2020～2024年）
スタートアップの創出	スタートアップ創出件数 うち大学発スタートアップ輩出件数	300社 100社
スタートアップの成長	ユニコーン輩出件数 5億円以上調達スタートアップ件数	3社 75社以上
起業家の聖地	外国人起業家の誘致件数	20社 (スタートアップビザ活用数：30者)
スタートアップの活躍	万博を契機に活躍するスタートアップ輩出件数	50社

- 【進捗把握の方法】
- 1. 「スタートアップ創出件数300社」「ユニコーン輩出件数3社」「5億円以上調達のスタートアップ件数75社以上」の目標については、大阪産業局の調査により算出する。
※スタートアップ：VC、事業会社、エンジェル投資家等から株式で資金調達を行っている未上場企業等を想定
 - 2. 「大学発スタートアップ輩出件数100社」の目標については、経済産業省「産業技術調査(大学発ベンチャー実態等調査)」をもとに算出する。
 - 3. 「外国人起業家の誘致件数20社」の目標については、JETRO、IBPC、OBICの管理情報から一定の創業年数内に大阪に進出した企業を対象に算出する。
 - 4. 「スタートアップビザ活用数30者」の目標については、大阪産業局で管理するスタートアップビザ活用数から算出する。
 - 5. 「万博を契機に活躍するスタートアップ輩出件数50社」の目標については、算出方法を検討中。



コンソーシアム目標達成のため、
大阪市事業として以下のKPIを設定

大阪市事業（イノベーション創出促進事業）目標

- ◆新たなプロジェクトの創出・推進支援件数 400件以上（令和3～7年度）
- ◆スタートアップ等における資金調達額 80億円以上（令和3～7年度）
※令和2年度以前に支援をした企業が新たに資金を調達した額を含む。

①スタートアップ×VC・大企業が出会う場の提供

- ・コロナ禍によりスタートアップ単体としては海外展開が困難に
- ・オンラインによるイベント開催やマッチング機会の提供により支援
(対面の交流では得られなかった新たな連携先の開拓やネットワーク拡大をめざす)

環境の変化に応じた事業内容（新規）

グローバル展開支援

海外の政府機関等と
連携したイベント

- ・米国：シカゴ市の姉妹都市(4都市)連携ピッチイベントにOIHで支援するスタートアップを推薦(5月)
- ・英国：ジェトロロンドン事務所とピッチイベントを共催(7月)
- ・北欧：Nordic Innovation House、アストラゼネカ社とオープンイノベーションイベントを共催(7月)
- ・台湾：Taiwan Startup Terraceとピッチイベントを共催(8月)



今後も、海外の支援機関や事業会社と連携し、グローバル展開支援を拡大。

①スタートアップ×VC・大企業が出会う場の提供

環境の変化に応じた事業内容（継続）

グローバルイベントの開催

オンラインを中心に開催予定

【国際イノベーション会議 Hack Osaka 2022】

日程：令和4年2月頃（予定）

内容：国内外の起業家等によるトークセッション、海外スタートアップによるピッチコンテスト、商談会などを開催
イベントを通じた成果の創出をめざし、登壇者と聴衆の出会いの機会も提供



【GET IN THE RING OSAKA 2021】

日程：令和3年12月頃（予定）

内容：大阪での開催は6回目。優勝者は令和4年に開催される世界大会に進出。

※昨年度のGET IN THE RING OSAKA 2020（ヘビー級）で優勝した日本のEAGLYS社が、今年4月に開催された世界大会でも優勝。



海外ワークショップ

各国の状況を踏まえてオンラインによる交流も含め、実施方法を検討

